

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 令和2年度 活動実績報告書

1. 拠点の活動内容

下記提案機関を中心に、「ものづくり地域・浜松」の特徴を活かし、医療ニーズ・医学シーズとの異分野融合による、健康・医療産業のハイレベルなアウトカムを目指し、「医工連携・産学連携・地域連携」を進めている。

【提案機関】

【産】浜松商工会議所、（公財）浜松地域イノベーション推進機構

【学】浜松医科大学、静岡大学、光産業創成大学院大学

【官】静岡県、浜松市

1-1. 装置・機器の活用

令和2年度 研究機器使用実績					
機器番号	本拠点に設置された機器の名称	回数(回)			設置場所
		累計	(有料)	(無料)	
1	PET/CT 装置	1596	1596	0	浜松医科大学
2	ピコ秒レーザー加工システム	24	8	16	浜松工業技術支援センター
3	ファイバーレーザー加工システム	24	6	18	浜松工業技術支援センター
4	半導体レーザーシステム	9	1	8	浜松工業技術支援センター
5	試料観察顕微鏡システム	128	47	81	浜松工業技術支援センター

令和2年度には、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の地域産学官共同研究拠点整備事業、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の国産医療機器創出促進基盤整備等事業から譲渡を受けたサイクロトロン、GMP対応ホットラボ室にあるホットセル等の装置・機器を、浜松医科大学および浜松工業技術支援センターにおいて引き続き有効活用した。新規PET装置（浜松ホトニクス㈱との共同研究により開発、スーパー特区課題、光先端医学教育研究センター・サイクロトロン棟に設置）の有用性および操作性の検証は、サイクロトロン、ホットセル等を活用し、浜松医科大学倫理委員会の承認を得て、ヒトでのデータ取得を引き続き行っている。

手術台、無影灯等は、手術用立体内視鏡、内視鏡手術用超音波診断装置（以上、スーパー特区課題）の開発に必要なデータ取得や条件設定を行う目的で、地域企業との共同研究において活用を継続している。特に、文部科学省の地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（平成28年度～令和2年度）では、静岡大学を事務局として「光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトニクスの新技術」をテーマに申請し、全国4拠点の1つとして採択された。医工連携に関する地域のエコシステムを確立するために、このプログラムに参画するとともに、国立研究開発法人日本医療研究開発機構

（AMED）国産医療機器創出促進基盤整備等事業（平成26年度～平成30年度）も活用することで人材育成や機器開発をより推進した。また、文部科学省の地域科学技術実証拠点整備事業（平成28年度～平成29年度）に、浜松医科大学が中心となり申請した「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」が全国22件の1つとして採択され、学内に医工連携拠点棟（iMec棟）を設置し、平成31年3月に竣工した。これにより、産学連携、医工連携によるイノベーション創出を推進する拠点が整備され、医療機器開発が益々盛んになることが期待されている。

光産業創成大学院大学（以下、「光産創大」という。）において、令和2年度から開始したバイオフォトニクスデザイン分野では、所属学生5名が本拠点事業と連携しながら活動展開をしている。

一方、レーザー関連装置（レーザー加工装置、顕微鏡）も、成長が期待できる医療・健康分野へ新たに進出を目指す輸送用機器製造業を中心とする地域の中小企業等に活用されている。一層の活用を促進するため、装置を設置している浜松工業技術支援センターでは、企業からの技術相談に対応し指導等を行っている。また、光産創大では、各種イベントや企業との連携の中において、医療・健康分野への応

用提案や、各種案件に対して試験や事業化支援を行った。ここで、進展のあった企業に対して、当拠点事業のスタートアップ支援事業の採択（1件）や、医師とのマッチングによる装置製作・販売（1件）、大型事業（AMED）への申請・採択（1件）へとつなげた。

上記の活動に関連し、例年に引き続き企業内において医療・健康分野に光技術を活用できる人材を育成していただくため、光産創大と浜松工業技術支援センターが実施機関となり「レーザーによるものづくり中核人材育成講座」を開催した。現在も、これまでの県内参加者企業の内7社とレーザーを用いた医療用部品製作技術の開発や、製作検討を進めている。

研究開発においては、光産創大が静岡県内企業や大学と共同で金属・セラミックのレーザーによるAM技術（アディティブ・マニファクチャリング～3次元造形技術）開発（1社）、医療器具製造向け超微細レーザー穴あけ加工技術研究（1社）、レーザー樹脂溶着・レーザー治療に向けた加熱端子開発（2社・1大学）を継続して発展させている。浜松工業技術支援センターでは、従来の浸染法では染色が難しかったプラスチック素材（視力矯正用眼鏡レンズ）をレーザーで染色する装置のさらなる技術開発を進め、科学技術振興機構の研究成果展開事業A-STEPトライアウトに採択された。また、浜松工業技術支援センターと光産創大が地元企業に協力して製品化された「透明プラスチックのレーザーによるクリーンな溶着システム（Lavertex®SV-120F）」を用いて医療器具製造のための応用技術を引き続き開発している。

1-2. 施設の活用

産学連携・知財活用推進センターのサイクロトロン棟内に設置したレンタルラボ2室は、浜松ホトニクス㈱と㈱ゾディアックの地域企業2社がレンタルし活用している。浜松ホトニクス㈱は、浜松医科大学との共同開発成果である「新規PET装置」を、さらに改良開発しデータ取得を行うために活用し、㈱ゾディアックは文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラムにおける立体内視鏡開発、またAMED医療機器開発推進研究事業における低侵襲内視鏡および顕微鏡手術支援3D超音波診断装置の開発を推進するために活用している。

医工連携拠点棟4F及び5Fオープンイノベーションスペース3室は、NanoSuit株式会社、株式会社はままつメディカルソリューションズ、株式会社プレッパーズの浜松医科大学発ベンチャー企業がレンタルし活用している。

医工連携拠点棟3F会議室では、隔月1回開催される拠点運営会議ワーキングの会議、月1回開催される拠点事務局会議を開催し活用した他、セミナーの開催（オンライン併用）、産学官連携の打ち合わせ、施設訪問団体への説明などに活発に活用している。

1-3. 対外的活動

1-3-1. セミナー・講習会等の開催

本報告書の「7. 普及活動」「8. 人材育成」に記したように、地域企業を対象とした「医療機器・薬機法関連セミナー」（計5回）、「医療現場との情報交換会」（3回、計8科）、「医療現場の見学会」（2回、計4科）等を実施した。尚、新型コロナウイルスの影響もあり、「医療現場との情報交換会」での交流会は中止するとともに、「医療現場の見学会」も次年度へ一部延期することにした。浜松商工会議所の浜松医工連携研究会（102社）と強力に連携しながら、浜松医科大学の有する設備や医療現場のニーズを紹介した。

また、年1回の本拠点の中心的イベントである「メディカルイノベーションフォーラム2020」については、令和3年1月22日に、基調講演「データシェアリングによる医療研究開発の課題解決：新型コロナウイルスからの教訓」（演者：末松 誠氏 慶応義塾大学医学部 医化学教室 教授）をオンラインで開催した。

1-3-2. 事業実施

○信州・浜松拠点間交流会議 2020(中止)

毎年交互に訪問しあって開催している拠点間交流会議は、今年度は浜松で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から延期となり、次年度に持ち越すこととなった。

○医工連携スタートアップ支援事業

【公益財団法人静岡県産業振興財団 令和2年度新成長産業戦略的育成事業】

本拠点が公益財団法人静岡県産業振興財団の新成長産業戦略的育成事業を受託し、医療や介護の現場の課題やニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するために、「アイディアの実現性の検

証」を行う支援事業を平成 24 年度から毎年行っている。令和 2 年度は、5 課題を採択した。しかし、そのうち 1 課題が申請書の内容に不備があり辞退することとなったため、二次募集を行った。二次募集で 1 課題を追加採択した。

令和 2 年度採択課題

- 1 A 社：経カテーテル大動脈弁置換術における自動 CT 解析ソフトの開発
- 2 T 社：ポータブル呼気回収デバイスの開発
- 3 K 社：視覚障がい者用白杖及び歩行補助用杖、視認性の向上を目的とした機能杖開発
- 4 N 社：医療機器向け純金メッキの物性評価
- 5 K 社：リハビリテーション対応ベッドサイドテーブル

この事業では、これまで計 52 件の開発案件を支援し、その後のフォローアップ（企業訪問等）を行うことにより、開発が継続され、約 29%が他の公的資金を獲得している。また、6 件が製品化を達成している。この事業は、企業の持つシーズ発掘にもつながっている。令和 2 年度の採択課題についても、今後より大きな公的資金獲得・製品化に向けて、更に支援を継続する予定である。

○医工連携出合いのサロン

【公益財団法人静岡県産業振興財団 令和 2 年度新成長産業戦略的育成事業】

本拠点が静岡県産業振興財団の新成長産業戦略的育成事業で受託し、平成 25 年から毎年実施している事業である。非医療機器メーカーが、医学系学会に展示することは困難であるため、展示ブースをはままつ医工連携拠点が買い取ることにより、取りまとめて企業展示を行ってきた。また、医療機器関連の展示イベントを開催しても、実際に利用する臨床医・医療従事者は多忙であり、展示会場を訪れることはほとんどない。そこで、全国の臨床医・医療従事者が集まる医学系学会に附設する形で、静岡県内で開発された商品や技術を紹介する展示をし、PR を行ってきた。さらに臨床医・医療従事者から商品や技術に対する評価や意見などを直接聴取する機会を企業へ提供すると共に、ブースツアー（他の医療機器メーカーの展示ブースを訪問し、企業を紹介するツアー）や橋渡し（面談）の場を提供してきた。

令和 2 年度は「第 48 回日本救急医学会総会」（令和 2 年 11 月 18 日～20 日、岐阜メモリアルセンターで愛ドーム）に出展し、5 社の支援を行った。

同時に本拠点の展示も行い、周知活動を実施した。新型コロナウイルスの影響もあり、出展者・入場者ともに例年より少なかったが、静岡県内で開発された商品や技術を紹介するとともに、臨床医・医療従事者から商品に対する評価や意見などを直接聴取する機会となった。

令和 2 年度出展企業

- ・株式会社フジネット
- ・川島繻帯株式会社
- ・株式会社ナユタ
- ・株式会社トモニ
- ・株式会社アドテクニカ

○Medtec Japan 2020 出展(中止)

令和 2 年 3 月 16 日～18 日に開催予定であった医療機器の設計・製造に関するアジア最大の展示会 MEDTEC Japan 2020（東京ビッグサイト）において、（公財）静岡県産業振興財団が取りまとめた静岡県ブースに、本拠点をはじめ静岡県西部の企業 4 社が出展予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催中止となった。次回は令和 3 年 4 月に開催されるため、出展予定である。

○その他のイベント出展等

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、年度初めのイベントは殆ど開催中止、延期、またはオンライン開催となった。出展予定であった第 93 回日本内分泌学会、メディカルメッセ 2020 は中止となった。また、ビジネスマッチングフェア 2020、メディカルクリエーションふくしま、おた研究・開発フェア、産業振興フェア in いわたは、オンライン開催となった。イベントのウェブサイト内で、拠点の紹介のページや取組みのビデオを流して周知活動を行った。

○その他

浜松市、浜松ウエルネス推進協議会と共催し、『浜松ウエルネス・ヘルスケア現場ニーズ情報交換会～ウエルネス・ヘルスケア関連の新規事業創出を目指して～』をテーマに会場とオンライン併用でセミナーを開催した（令和2年10月8日）。

また、健康医療講演会「健康ビッグデータをベースとした寿命革命エコシステム構築戦略～産学官民一体型持続的健康オープンイノベーションPF構築をめざして～」(演者：村下公一氏 弘前大学 教授 健康未来イノベーションセンター・副センター長)を会場とオンライン併用で開催した（令和3年3月18日）。

○大型イメージング装置のデモンストレーション

PET、MRI、CTなど、研究用大型イメージング装置を、地域の大学、研究所、企業に活用してもらうために、拠点で準備した対象物や持ち込みサンプルを撮像し、デモンストレーションやトライアルユースを行った（2件実施）。また、企業の技術相談に対応し、研究開発に必要な3次元データ取得に関して検討し助言した。

2. 活動実績のまとめ

	座学	臨床見学(講義含む)	合計
講習会・研修会等数	16	4	20

	企業数	参加者数
参加人数	370	866

	参加者数
臨床現場見学者数	30

	相談回数	相談時間	収集ニーズ
医療機器に関する相談数	39	58	39

	氏名(順不同)	所属・役職
講習について(講師)	夏目 貴弘	浜松医科大学 訪問共同研究員
	山本 清二	浜松医科大学 理事(教育・産学連携担当)・副学長
	堀田 喜裕	浜松医科大学 教授
	大澤 恵	浜松医科大学 講師
	五島 聡	浜松医科大学 教授
	鈴木 哲朗	浜松医科大学 教授
	黒住 和彦	浜松医科大学 教授
	中川 雅裕	浜松医科大学 特任教授
	船井 和仁	浜松医科大学 教授
	永田 靖	中小企業基盤整備機構(中央本部) 企業支援アドバイザー
	二階堂 知己	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) マッチングプランナー
	杉本 健	浜松医科大学 准教授
	本田 哲也	浜松医科大学 教授

3. 運営委員会等 会議開催状況

会議名称	開催日時	出席者数	概要
事業運営委員会			
第1回事業運営委員会	令和2年5月22日 14時～15時30分	委員9名 (代理2) 計29名	・令和元年度事業報告、収支決算報告 ・令和元年度会計監査報告 ・令和2年度修正予算(案) ・事業運営委員会規約について
第2回事業運営委員会	令和3年3月26日 13時30分～15時30分	委員:9名 (代理1) 計26名	・令和3年度事業計画案について ・令和3年度予算案について ・拠点の新体制について ・その他
ワーキング会議			
第72回ワーキング会議	令和2年4月21日 10時～12時	25名	・令和元年度第2回事業運営委員会について ・令和2年度スタートアップ支援事業公募について 他
第73回ワーキング会議	令和2年6月16日 10時～12時	24名	・令和2年度第1回事業運営委員会について ・令和2年度出合いのサロンについて ・医療機器・薬機法関連セミナーについて 他
第74回ワーキング会議	令和2年9月16日 10時～12時	23名	・第1回医療現場との情報交換会・現場見学会について ・令和2年度スタートアップ支援事業審査会について ・医療機器・薬機法関連セミナーその1について 他
第75回ワーキング会議	令和2年11月17日 10時～12時	20名	・セミナーアンケート結果について ・スタートアップ支援事業アンケート調査・企業訪問について他
第76回ワーキング会議	令和3年1月19日 10時～12時	21名	・セミナーアンケート結果について ・第2回医療現場との情報交換会・現場見学会について ・令和2年度出合いのサロンについて 他
第77回ワーキング会議	令和3年3月15日 10時～12時	27名	・令和2年度スタートアップ支援事業成果報告会について ・令和3年度事業計画案、予算案について ・拠点の新体制について 他

*拠点内事務局ミーティングは1～2回/月にて随時開催した。

4. 外部資金獲得状況

共同研究 5件

研究者所属機関	役職	研究者名	共同研究先	研究期間
光産業創成大学院大学	准教授	沖原伸一郎	企業(浜松市)	平成30年度～令和3年度
浜松工業技術支援センター	上席研究員	山下 清光	企業(浜松市)	令和2年9月～令和3年3月
浜松医科大学	准教授	星野 裕信	企業(浜松市)	平成30年度～令和2年度
浜松医科大学	准教授	山内 克哉	企業(浜松市)	平成28年度～令和2年度
浜松医科大学	教授	浦野 哲盟	企業(浜松市)	平成28年度～令和2年度

受託研究 4件

事業名 (委託機関等)	課題名・ プロジェクト名	受託機関	役職	研究者名	研究期間
研究成果展開事業 A-STEPトライアウト(科学技術振興機関)	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱方法の検討	浜松工業技術支援センター	科長	植田浩安	令和2年11月～令和3年10月
研究成果展開事業共創の場の形成支援 COI 拠点「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点」(科学技術振興機構)	精神的価値が成長する感性イノベーション	浜松医科大学	理事・副学長	山本 清二	平成25年度～令和3年度
地域拠点強化実施可能性調査(三菱総合研究所)	地域拠点強化実施可能性調査	浜松医科大学	理事・副学長	山本 清二	平成31年度～令和2年度
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム(文部科学省)	「光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトリクスの新技術	浜松医科大学 静岡大学 浜松市 企業(県外) 企業(浜松市)	理事・副学長	山本 清二	平成28年度～令和2年度

5. 研究成果

特許等出願件数 1件

発明等の名称	出願日	出願番号	出願人	発明者
作業時心理状態評価方法及び装置、並びに作業自体の楽しさの評価方法及び装置	令和3年3月5日	特願 2021-035752	浜松医科大学	山本清二・大星有美・田村和輝・福司康子

6. 実用化実績

製品化実績 3件

研究者名	商品名	販売開始年月日	販売元企業名	商品情報 (製品名)	備考
中村 和正	放射線治療用マウスピース	令和2年10月	エンジニアリングシステム株式会社	ESD-40 エスフォーム マウスピース	ショーダテクトロン
山内 克哉 他	高齢者向け製品「グルグル」他	令和2年5月	株式会社共臨社(旧 株式会社パロン)	上肢リハビリ「ぐるぐるストレッチ」	
伊東 宏晃 他	腔鏡	令和2年6月	岩崎工業株式会社	Lustromedic 腔鏡	HAMING

7. 普及活動

成果発表会・講演会・セミナー等イベント(人材育成関連は除く)			
<p>第1回医療現場との情報交換会 (浜松医科大学の医師から製品開発のヒントを得る) 場所:浜松医科大学 医工連携拠点棟3階 大会議室 テーマと講師: 1.眼科学講座からの現場及び業務紹介 浜松医科大学医学部 眼科学講座 教授 堀田 喜裕 氏 2.光学医療診療部からの現場及び業務紹介 浜松医科大学医学部附属病院 光学医療診療部 副部長・講師 大澤 恵 氏 3.放射線診断学・核医学講座からの現場及び業務紹介 浜松医科大学医学部 放射線診断学・核医学講座 教授 五島 聡 氏</p>	<p>令和2年 6月23日</p>	<p>31社 計80名</p>	<p>対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ</p>
<p>共同研究・研究倫理セミナー (ビデオ配信) 場所:浜松医科大学 医工連携拠点棟3階 大会議室 テーマと講師: 研究倫理・発明者性について 浜松医科大学 理事(教育・産学連携担当)・副学長 山本 清二 氏</p>	<p>令和2年 7月28日 7月29日</p>	<p>7社 計10名</p>	<p>対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ</p>
<p>医療・介護現場見学会 ①放射線科 浜松医科大学医学部 放射線診断学・核医学講座 教授 五島 聡 氏</p>	<p>令和2年 7月28日</p>	<p>8社 計8名</p>	<p>対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ</p>
<p>医療・介護現場見学会 ②眼科 浜松医科大学医学部 眼科学講座 教授 堀田 喜裕 氏</p>	<p>令和2年 7月28日</p>	<p>7社 計8名</p>	<p>対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ</p>
<p>医療・介護現場見学会 ③光学医療診療部 浜松医科大学医学部附属病院 光学医療診療部 副部長・講師 大澤 恵 氏</p>	<p>令和2年 7月29日</p>	<p>7社 計8名</p>	<p>対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ</p>
<p>医工連携研究会全体会 場所:浜松医科大学 医工連携拠点棟3階 大会議室 講演会:「新型コロナウイルスへの理解を基礎から深める」 講師:浜松医科大学医学部 ウイルス・寄生虫学講座 教授 鈴木 哲朗 氏 事例発表:「新型コロナウイルス関連医療物資プロジェクト」 発表者:参画業者</p>	<p>令和2年 9月16日</p>	<p>34社 計65名</p>	<p>対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ</p>
<p>浜松ウェルネス・ヘルスケア現場ニーズ情報交換会 (浜松市、浜松ウェルネス推進協議会と共催) 「ウェルネス・ヘルスケア関連の新規事業創出を目指して～」 場所:浜松医科大学 医工連携拠点棟3階 大会議室及びオンライン(Zoom) テーマと講師: 1.『With コロナ社会で健康寿命を延ばす7つのポイント』 浜松医科大学 医学科健康社会医学講座 教授 尾島 俊之 氏 2.『年間2万7千人が受診する人間ドックの最前線と舞台裏』 社会福祉法人 聖隷福祉事業団聖隷健康診断センター 事務長 岡野 淳 氏</p>	<p>令和2年 10月8日</p>	<p>21社 WEB 47名 会場 25名 合計 72名</p>	<p>対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ、関係自治体等</p>
<p>セミナー「浜松医科大学で共同利用できるMRI/CTのご紹介」 場所:浜松医科大学 医工連携拠点棟3階 大会議室 講師:浜松医科大学 光先端医学教育研究センター 訪問共同研究員 (静岡医療科学専門学校 医学放射線学科 副学科長) 夏目 貴弘 氏</p>	<p>令和2年 10月22日</p>	<p>4社 計22名</p>	<p>対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ</p>

<p>第2回医療現場との情報交換会 (浜松医科大学の医師から製品開発のヒントを得る) 場所:ホテルクラウンパレス浜松 4階美容の間 及びオンライン(Zoom) テーマと講師: 1.脳神経外科からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部 脳神経外科学講座 教授 黒住 和彦 氏 2.形成外科からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部附属病院 形成外科 特任教授 中川 雅裕 氏 3.呼吸器外科からの現場及び業務 紹介 浜松医科大学医学部 外科学第一講座 准教授 船井 和仁 氏</p>	令和2年 12月2日	25社 計50名 (オンライン 25名・会場 25名)	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
<p>医療・介護現場見学会 ①脳神経外科 浜松医科大学医学部 脳神経外科学講座 教授 黒住 和彦 氏</p>	令和2年 12月14日	4社 計6名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
<p>メディカルイノベーションフォーラム 2020 場所:浜松医科大学 医工連携拠点棟 3階 大会議室及びオンライン(Zoom) 基調講演「データシェアリングによる医療研究開発の課題解決:新型コロナウイルスからの教訓」 講演者:慶応義塾大学医学部 医化学教室 教授 末松 誠 氏</p>	令和3年 1月22日	45社 会場:16名 WEB:95名 計111名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ等
<p>健康医療講演会 場所:浜松医科大学 医工連携拠点棟 3階 大会議室及びオンライン(Zoom) 1.「浜松地域における医工連携の取り組みについて」 講演者:浜松医科大学 理事(教育・産学連携担当)・副学長 山本 清二 氏 2.「健康ビッグデータをベースとした寿命革命エコシステム構築戦略」-産学官民一体型持続的健康オープンイノベーション PF 構築を目指して- 講演者:健康未来イノベーションセンター・副センター長 弘前大学 教授 村下 公一 氏</p>	令和3年 3月18日	48社 会場:24名 WEB:93名 計117名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ、等
<p>第3回医療現場との情報交換会 (浜松医科大学の医師から製品開発のヒントを得る) 場所:アクトシティ浜松コンgresセンター53 会議室及びオンライン(Zoom) テーマと講師: 1.消化器内科からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部 内科学第一講座 准教授 杉本 健 氏 2.皮膚科学講座からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部 皮膚科学講座 教授 本田 哲也 氏</p>	令和3年 3月25日	32社 会場:24名 WEB:30名 計54名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ

8. 人材育成

人材育成関連(講習会・研修会等)			
「レーザー中核人材育成講座」	講座(17日間) 令和2年8月21日～令和3年1月22日	計38名	対象者:ものづくり企業等関係者 概要:整備機器を活用した機器開発のできる人材を育成するレーザー講座・リモート実習企画のみ
医療機器・薬機法関連セミナーその1 「わかりやすい医療機器と薬機法(入門編)」 場所:浜松商工会議所及びオンライン(Zoom) 講師:経営支援アドバイザー・薬事専門家 (独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー) 永田 靖 氏	令和2年 9月11日	15社 計30名 (オンライン 18名・会場12名)	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
医療機器・薬機法関連セミナーその2	令和2年 10月9日	18社 計33名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ

「医療機器産業への参入の実際と課題」 場所: 医工連携拠点棟 3階大会議室及びオンライン (Zoom) 講師: 経営支援アドバイザー・薬事専門家 (独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー) 永田 靖 氏		(オンライン 20名・会場 13 名)	
「公的資金の利用と申請書の書き方セミナー」 場所: アクトシティ浜松コンgresセンター 53 会議室及びオンライン (Zoom) 講師: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 産学連携展開部 地域イノベーショングループ 副調査役マッチングプランナー (広域 関東圏担当) 産学連携フェロー 二階堂 知己 氏 国立大学法人 浜松医科大学 理事 (教育・産学連携担当)・副学長 山本 清二 氏	令和 2 年 11 月 27 日	10 社 計 62 名 (オンライン 47 名・会場 15 名)	
医療機器・薬機法関連セミナーその 3 「医療機器の品質マネジメントシステム (ISO13485) の構築について」 場所: 研修交流センター52 会議室及びオンライン (Zoom) 講師: 経営支援アドバイザー・薬事専門家 (独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー) 永田 靖 氏	令和 2 年 11 月 13 日	18 社 計 33 名 (オンライン 19 名・会場 11 名)	対象者: 企業関係者、研究者、 コーディネータ
医療機器・薬機法関連セミナーその 4 「医療機器の開発におけるリスクマネジメント」 場所: 研修交流センター62 会議室及びオンライン (Zoom) 講師: 経営支援アドバイザー・薬事専門家 (独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー) 永田 靖 氏	令和 2 年 12 月 11 日	19 社 計 30 名 (オンライン 18 名・会場 12 名)	対象者: 企業関係者、研究者、 コーディネータ
医療機器・薬機法関連セミナーその 5 「医療機器の認可申請と不具合対応」 場所: コンgresセンター52～54 会議室及びオンライン (Zoom) 講師: 経営支援アドバイザー・薬事専門家 (独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー) 永田 靖 氏	令和 3 年 2 月 12 日	17 社 計 29 名	対象者: 企業関係者、研究者、 コーディネータ

9. 取材・報道状況

新聞・雑誌新聞 20 件		
上肢リハビリ器具開発	令和 2 年 4 月 21 日	静岡新聞
飛沫防止の医療器具改良	令和 2 年 4 月 25 日	静岡新聞
浜医大と県内企業 医療器具開発	令和 2 年 5 月 9 日	中日新聞
ものづくり要親しんで	令和 2 年 5 月 18 日	中日新聞
医療製品の改善点 23 日に情報交換会	令和 2 年 6 月 6 日	中日新聞
浜松医大など研究 新薬の開発に期待	令和 2 年 6 月 14 日	中日新聞
飛沫防止へ医療器具改良	令和 2 年 6 月 16 日	読売新聞
手術用ガウンを共同製作	令和 2 年 7 月 7 日	静岡新聞
手術用ガウンお披露目	令和 2 年 7 月 8 日	中日新聞
国のベンチャー支援都市 浜松認定	令和 2 年 7 月 15 日	中日新聞

静岡大再編足踏み	令和2年7月16日	朝日新聞
コロナ感染防止3社が新製品発表	令和2年9月21日	静岡新聞
健康事業展開ヒント探る	令和2年10月9日	中日新聞
浜松ウエルネス・ヘルスケア現場ニーズ情報交換会	令和2年10月15日	静岡新聞
医工連携 動きは着々	令和2年10月21日	中日新聞
スタートアップ企業 世界へ育て	令和3年1月26日	中日新聞
メディカルイノベーションフォーラム開催	令和3年1月30日	静岡新聞

面談 ・来訪等 78件		
来訪	令和2年4月3日	企業H社
来訪	令和2年4月9日	企業H社
面談	令和2年5月19日	企業S社
面談	令和2年5月29日	N氏
面談	令和2年6月8日	企業N社
面談	令和2年6月15日	企業S社
面談	令和2年6月16日	静岡県庁 M氏、I氏
技術相談	令和2年6月17日	企業N社
面談	令和2年6月18日	企業H社
面談	令和2年7月7日	企業N社
面談	令和2年7月8日	企業2社
技術相談	令和2年7月13日	企業K社
面談	令和2年7月15日	企業2社
面談	令和2年7月22日	企業S社
面談	令和2年7月30日	企業K社
面談	令和2年8月19日	浜松市産業部 M氏
技術相談	令和2年8月19日	企業L社
技術相談	令和2年8月19日	企業R社
面談	令和2年8月20日	浜松市産業振興課
面談	令和2年8月21日	静岡県産業振興財団 M氏
面談	令和2年8月21日	企業H社
来訪	令和2年8月21日	浜松地域イノベーション推進機構
面談	令和2年8月24日	浜松商工会議所
面談	令和2年8月27日	企業L社
面談	令和2年8月28日	企業S社
面談	令和2年8月28日	浜松市 E氏、F氏
面談	令和2年9月1日	企業R社
面談	令和2年9月3日	企業S社
面談	令和2年9月8日	企業R社
面談	令和2年9月9日	浜松市他

面談	令和2年9月10日	浜松市産業部 M氏
面談	令和2年9月15日	企業M社
面談	令和2年9月24日	企業S社
面談	令和2年10月2日	光産業創成大学院大学、企業H社
来訪	令和2年10月7日	企業H社
技術相談	令和2年10月12日	光産業創成大学院大学
技術相談	令和2年10月13日	企業K社
面談	令和2年10月15日	企業H社
面談	令和2年10月16日	企業H社
面談	令和2年10月20日	企業H社
面談	令和2年10月22日	企業P社
来訪	令和2年10月27日	企業E社
面談	令和2年10月29日	企業3社
面談	令和2年10月30日	企業A社
面談	令和2年11月5日	光産業創成大学院大学
面談	令和2年11月6日	企業2社
来訪	令和2年11月9日	浜松地域イノベーション推進機構 F氏 M氏
面談	令和2年11月9日	企業T社
面談	令和2年11月10日	企業D社
面談	令和2年11月20日	企業2社
面談	令和2年11月26日	浜松市他
面談	令和2年12月1日	静岡大学・企業N社
面談	令和2年12月3日	フotonバレーセンター
来訪	令和2年12月3日	浜松地域イノベーション推進機構
面談	令和2年12月3日	企業P社
面談	令和2年12月7日	企業S社
面談	令和2年12月8日	浜松市 S氏
面談	令和2年12月15日	浜松地域イノベーション推進機構 F氏
面談	令和2年12月18日	浜松工業技術支援センター
面談	令和2年12月22日	浜松イノベーション推進機構 S氏
面談	令和2年12月24日	企業S社
技術相談	令和3年1月19日	企業I社
面談	令和3年1月20日	静岡県庁 I氏
面談	令和3年2月5日	浜松市他
面談	令和3年2月8日	浜松地域イノベーション推進機構 Y氏
面談	令和3年2月8日	企業H社
面談	令和3年2月9日	企業I社
面談	令和3年2月12日	浜松商工会議所・浜松地域イノベーション推進機構
面談	令和3年2月19日	内閣府

面談	令和3年3月3日	企業2社
面談	令和3年3月4日	企業I社
面談	令和3年3月8日	浜松市他
面談	令和3年3月8日	企業S社
面談	令和3年3月15日	企業S社
面談	令和3年3月17日	企業I社
面談	令和3年3月19日	浜松市他
面談	令和3年3月22日	企業S社
面談	令和3年3月30日	企業H社

10.他拠点との連携等

信州拠点間交流会議は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、来年度に延期。

11. その他(拠点運営費による出張業務)

○牧野事業総括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	令和2年9月29日	スタートアップ支援事業についての相談	静岡産業振興財団 静岡県葵区	事業化活動
2	令和2年11月19日 ～20日	日本救急医学会総会(出会いのサロン)出展支援および周知活動	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム 岐阜県岐阜市	広報活動

○山本研究統括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	令和2年11月20日	日本救急医学会総会(出会いのサロン)出展支援およびブースツアー	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム 岐阜県岐阜市	広報活動

○三浦顧問出張業務

	日付	内容	出張先	出張目的
1	令和2年11月20日	日本救急医学会総会(出会いのサロン)出展支援および周知活動	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム 岐阜県岐阜市	広報活動